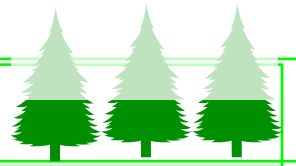


みつぎ便り



第233号 2月号 令和8年2月1日発行 http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report

板橋区役所南部土木サービスセンターの花づくりグループとエコポリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です



ホシハジロ

冬になると、ユーラシア大陸から渡ってくる鴨たちの仲間にホシハジロがいます。オスは茶色い頭に黒い胸、灰色の胴体の羽根と黒い尾、まるでスリートンカラーです。ホシハジロは、漢字で書くと星羽白で、胴体を覆っている羽根が白く輝く星に見えるからとか。赤い目が星に見えるからとか言われています。メスは身体全体が薄黒い茶色をしており、目の周りは白く縁取られています。ユーラシア大陸から日本の各地にやって来て、春になると繁殖の為に大陸に帰って行きます。



マサキ

マサキは公園の南入口から前野中央通り添いに上がる坂の左手にあります。高さも五メートル以上あるでしょうか、びっしりの葉と冬には目立つ小さな赤い果実を付けています。

十年以上前は板橋の小さな池や川にも色々な水鳥が見られたのですが、近年、どの野鳥もめっきり減少しました。ホシハジロも国際的に絶滅危惧種に指定され、なんと東京都でも二〇二三年に絶滅危惧Ⅱ種に登録されています。幼い頃親しんだドジョウやヒバリもリスト入りです。私達人間が様々な意味で他の生き物を苦しめているのでしょね。何とかしなくてはと思っているのですが、これといった努力もせず、細やかにゴミの分別に頑張っている毎日です。(静)



マサキは、漢字では桎、正木と書きますが、厚みのあるつややかな葉が一年を通して美しい常緑木です。芽吹きがよく刈り込みすることできれいに形が整えられるので、生垣にもよく使われます。また、潮風や大気汚染にも強いので、海岸付近や自動車の交通量の多い都市部での植栽にも適しています。葉は有柄で対生し楕円形で厚く艶がありふちにはきょ歯があります。果実は十一月〜十二月に緑がかつた茶色に熟し、三〜四つに分かれ黄赤色の仮種子を持つ種を四個出します。花期は六〜七月。日本、韓国、中国に分布しています。公園も冬を迎え、木の葉も落ち空が広く感じられます。今年は鴨の数も少ないようですがまた多くの野鳥が来てくれると良いですね。(重)